

第21回 国際開発研究大来賞 決まる

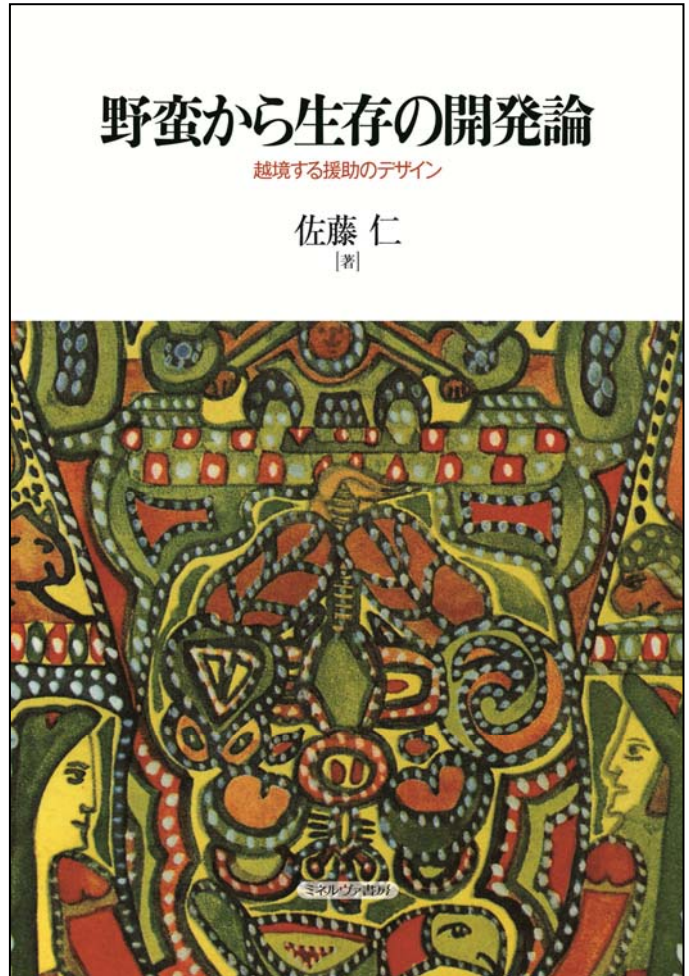
(2017年11月24日発表)

一般財団法人 国際開発機構(FASID) が主催する

おおきた しょう

第21回(2017年度)「国際開発研究 大来賞」は 下記のように決まりました。

この賞は、国際開発の分野における研究奨励と促進、良書の発掘に資するため
国際開発の様々な課題に関する 優れた指針を示す研究図書を顕彰するものです。



【受賞作品】

『「近代化」は女性の地位をどう変えたか:
タンザニア農村のジェンダーと土地権をめぐる変遷』
田中 由美子 著 (新評論)

『野蛮から生存の開発論：越境する援助のデザイン』
佐藤 仁 著 (ミネルヴァ書房)

この受賞を祝して **表彰式典**および**記念講演会**を 2018年2月1日(木)(午後)に執り行います。
受賞作品紹介リーフレットおよび式典詳細・参加受付については、追ってFASID websiteにてご案内しますので、ひきつづきご注目下さい。
本賞は、開発援助を含む国際開発の分野における課題を主たるテーマとする日本語の研究図書であって、
過去1年間(第21回は、2016年4月から2017年3月)に初版が国内で市販された日本語の研究図書を対象として公募しました。
多くの皆さまより ご推薦・応募 本賞事業へ参加をいただき、ありがとうございました。

【第21回 審査委員会】 委員長 杉下 恒夫 (FASID 理事長)

委員 荒木 光弥 (国際開発ジャーナル社代表取締役・主幹) 絵所 秀紀 (法政大学 教授)

大野 泉 (政策研究大学院大学 教授) 滝澤 三郎 (国連 UNHCR 協会理事長, 東洋英和女学院大学院 客員教授)

岡田 尚美 (FASID 専務理事)